

刑罰としての死刑

松原芳博

I はじめに

死刑は拘禁刑や罰金とならぶ刑罰(法制度)の1つ

II 刑罰の正当化根拠

・ 功利的正当化

一般予防

消極的一般予防=害悪による威嚇・抑止

積極的一般予防=規範意識の維持・覚醒

特別予防

消極的特別予防=隔離・排除

積極的特別予防=教育・改善

・ 道徳的正当化

応報=犯人に自ら行った犯罪に対する責任を取らせる(責任応報)

III 死刑と特別予防

IV 死刑と一般予防

V 死刑と応報

応報≠同害報復(タリオ)

応報≠遺族感情の満足

応報≠贖罪

語り掛けを断念し、贖罪の機会を奪う死刑

VI 死刑と法システム

VII 死刑の特異性を際立たせるもの

誤判

*責任能力に関する誤判

死刑の選択

*量刑誤判

VIII 死刑と国民感情

感情≠意見

感情≠正義

感情≠価値(価値観)

略 歴

氏名 松原芳博 (まつばら よしひろ)

【経歴】

1960年東京生まれ

1985年早稲田大学法学部卒業

1993年同大学大学院博士後期課程満期退学

その後、九州国際大学法学部助教授等を経て、

現在、早稲田大学法学学術院教授

博士(法学・早稲田大学)

日本刑法学会常務理事

過去には、司法試験考査委員、日本学術会議連携会員などを歴任

【主要著書】

『刑法総論〔第3版〕』(日本評論社、2022年)

『刑法各論〔第2版〕』(日本評論社、2021年)

『刑法概説〔第2版〕』(成文堂、2022年)

『行為主義と刑法理論』(成文堂、2020年) など。